



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

# 特別勘定マンスリーレポート

## 特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

# 2017年2月

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注) 変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売しておりません。

この資料の内容は当社のホームページでもご覧になれます。  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 『ご留意いただきたい事項』

### ■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

### ■生命保険です

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

### ■運用実績に応じて変動します

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

### ■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

### ■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

### ■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

### ■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

### ■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」「(注)」、「変額保険(有期型)」「(注)」、「ユニット・リンク保険(有期型)」「(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

### ■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### ■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

### ■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

## 1.特別勘定の運用概況

### ・特別勘定の運用方針

(特別勘定名)	(運用方針)
日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX) <sup>※1</sup> を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 <sup>※2</sup> を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 <sup>※3</sup> を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス <sup>※4</sup> を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) <sup>※5</sup> 50%、シティ世界国債インデックス(除く日本) <sup>※6</sup> 50%で加重平均した 複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型*	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) <sup>※7</sup> を上回る投資成果を目指します。
グローバル・バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス <sup>※8</sup> 50%、シティ世界国債インデックス <sup>※9</sup> 50%で加重平均した 複合指数を上回る投資成果を目指します。

※1) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。

※2) S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。

※3) MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。

※4) MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※5) NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※6) シティ世界国債インデックス(除く日本)とはシティグループ・インデックスLLCが算出・公表している指数で、日本を除いた世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

※7) NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※8) MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※9) シティ世界国債インデックスとはシティグループ・インデックスLLCが算出・公表している指数で、日本を含む世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

\*「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下(マイナス金利を含む)では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 2.運用環境 [2017年2月]

### 【日本株式型】【日本株式積極運用型】

国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で+0.94%となりました。  
日本企業の業績が改善傾向にあること、米国株式市場が堅調な伸びを見せたことなどを背景に上昇しました。  
一方、円高米ドル安への警戒感、米国の利上げに対する不透明感、同国の政策に対する過度な期待がやや後退したことなどが相場の上値を抑えました。

### 【米国株式型】【欧州株式型】【世界株式型(為替ヘッジなし)】【世界株式型(為替ヘッジあり)】

海外株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で+3.40%となりました。

米国株式市場は、MSCI US(現地通貨ベース)で+3.93%となりました。  
ISM(供給管理協会)製造業景況指数の上昇、雇用統計における非農業部門雇用者数の市場予想を上回る伸びなどから、株式市場は上昇しました。  
月後半は、企業の合併報道や原油価格の上昇などを背景に上昇基調で引けました。

欧州株式市場は、MSCI Europe(現地通貨ベース)で+2.79%となりました。  
米国株式市場につれて堅調に推移し、欧州企業の好調な決算発表や原油価格の上昇などを背景に上昇しました。

### 【金融市場型】

国内債券市場は、NOMURA-BPI(総合)で+0.31%となりました。  
月初に一時的に金利が上昇する場面が見られたものの、日本銀行が長期債への指値オペを実施し、  
長期金利の誘導目標である0%程度の水準を維持する態度を示したことや、米国の長期金利が低下したことを受けて、月間で金利は低下しました。

### 【世界債券型】

世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で+0.84%となりました。

米国債券市場では、FRB(連邦準備制度理事会)の要人による早期利上げの示唆などを背景に金利が上昇する局面があったものの、  
全体としては、欧州の政治的な不安の高まりから、米国債券への逃避需要が生じたことなどにより、金利は低下しました。

欧州債券市場では、月前半は仏大統領選挙への懸念、ギリシャ債務問題が再燃するとの思惑などを背景に長期金利は低下しました。  
月後半も本年中に国政選挙を控える欧州主要国における政治リスクが嫌気され、金利は一段と低下しました。

### 【グローバル・バランス型】

世界株式市場は、MSCI WORLD(現地通貨ベース)で+3.15%となりました。世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で+0.84%となりました。

米国株式市場は、MSCI US(現地通貨ベース)で+3.93%となりました。  
ISM(供給管理協会)製造業景況指数の上昇、雇用統計における非農業部門雇用者数の市場予想を上回る伸びなどから、株式市場は上昇しました。  
月後半は、企業の合併報道や原油価格の上昇などを背景に上昇基調で引けました。

欧州株式市場は、MSCI Europe(現地通貨ベース)で+2.79%となりました。  
米国株式市場につれて堅調に推移し、欧州企業の好調な決算発表や原油価格の上昇などを背景に上昇しました。

米国債券市場では、FRB(連邦準備制度理事会)の要人による早期利上げの示唆などを背景に金利が上昇する局面があったものの、  
全体としては、欧州の政治的な不安の高まりから、米国債券への逃避需要が生じたことなどにより、金利は低下しました。

欧州債券市場では、月前半は仏大統領選挙への懸念、ギリシャ債務問題が再燃するとの思惑などを背景に長期金利は低下しました。  
月後半も本年中に国政選挙を控える欧州主要国における政治リスクが嫌気され、金利は一段と低下しました。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### 3. 特別勘定の運用状況 [2017年2月]

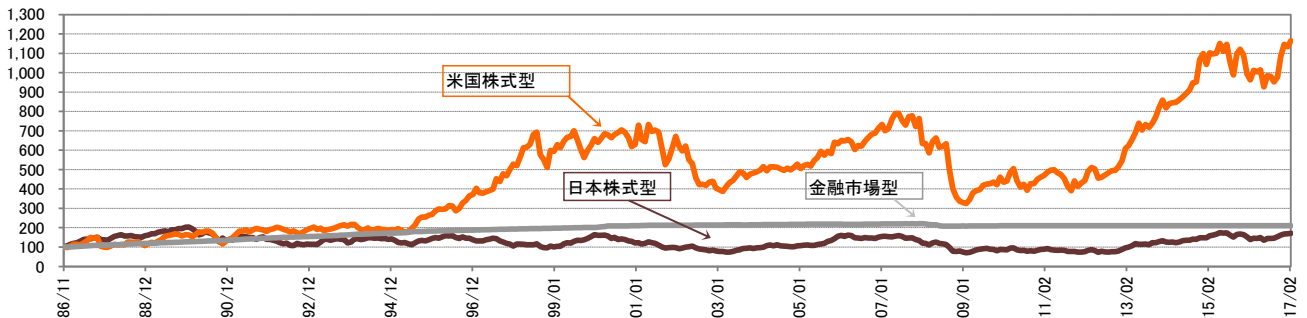
・特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧

特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	170.62796557	0.96%	5.33%	18.46%	22.61%	36.13%	104.30%	70.63%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	99.07765013	0.90%	4.96%	15.32%	22.93%	34.08%	95.91%	▲0.92%
米国株式型	1986年12月1日	1.164.66139919	2.73%	7.46%	18.74%	20.99%	38.71%	137.03%	1064.66%
欧州株式型	1999年4月1日	159.94033736	▲0.11%	6.12%	7.63%	5.62%	▲1.07%	73.55%	59.94%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	197.46512830	1.94%	7.92%	16.91%	19.13%	27.80%	121.18%	97.47%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	158.25058571	3.13%	7.13%	7.99%	18.39%	21.92%	68.25%	58.25%
世界債券型	1999年4月1日	156.29493286	▲0.02%	0.12%	0.73%	▲0.31%	5.80%	24.30%	56.29%
金融市場型	1986年12月1日	209.99488030	▲0.01%	▲0.04%	▲0.09%	▲0.16%	▲0.27%	▲0.24%	109.99%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	189.90016022	0.60%	3.89%	8.86%	9.34%	16.59%	73.56%	89.90%

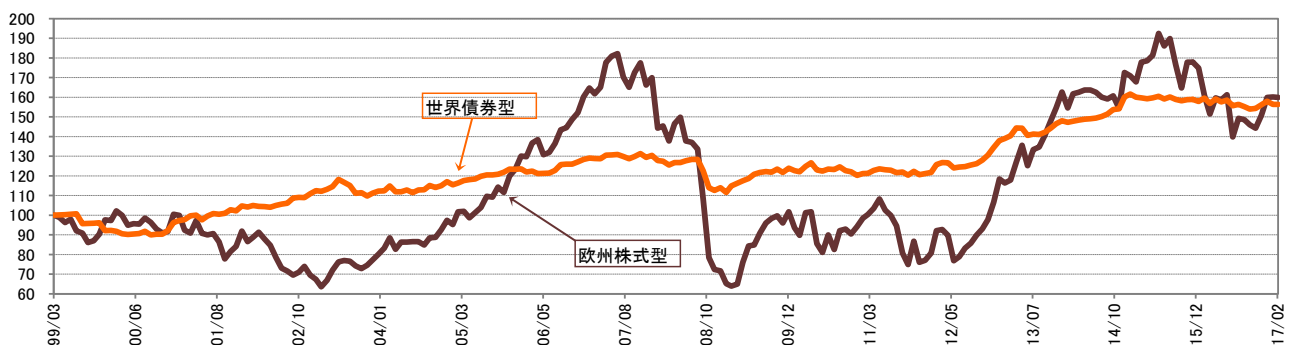
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として指数化したものです。

・特別勘定のユニット・プライス推移

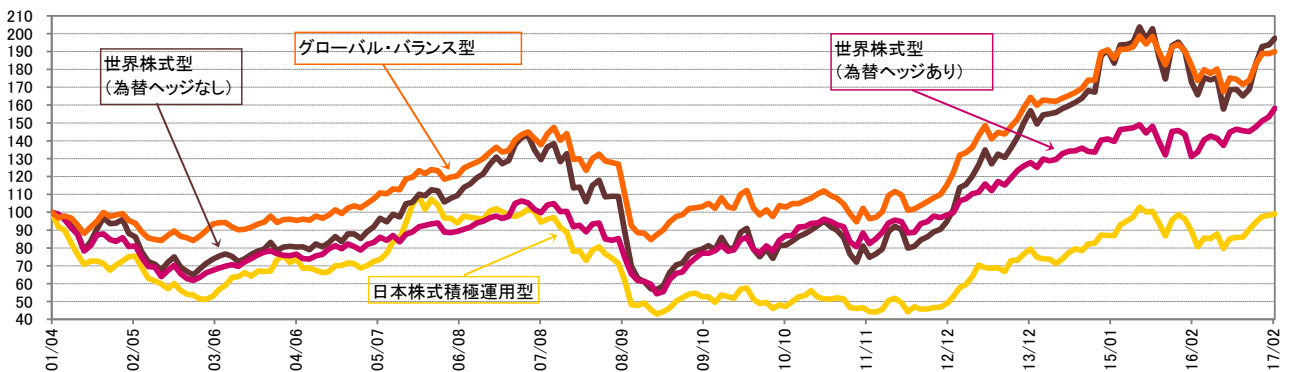
・1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



・1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



・2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移  
(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



・特別勘定資産の内訳

■日本株式型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,181,471	4.1%
投資信託	ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅠ-3	16,028,476	55.9%
	日本株バリュールマネージャーフアンド	6,122,951	21.4%
	アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド	5,332,517	18.6%
	合計	28,665,416	100.0%

■日本株式積極運用型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	100,095	4.2%
投資信託	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3	714,497	29.7%
	ビクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド	1,588,291	66.1%
	合計	2,402,884	100.0%

■米国株式型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	894,161	4.4%
投資信託	RIC Russell Investments US Equity Fund	11,731,301	57.5%
	米国株式インデックスファンドVA	7,770,626	38.1%
	合計	20,396,088	100.0%

■欧州株式型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	162,597	4.3%
投資信託	RIC II Russell Investments Pan European Equity Fund	703,156	18.8%
	フィデリティ・欧州株・ファンド	2,884,323	76.9%
	合計	3,750,075	100.0%

■世界株式型(為替ヘッジなし)

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	121,666	4.2%
投資信託	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅠ-4B	2,196,131	76.5%
	インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)	551,134	19.2%
	合計	2,868,932	100.0%

■世界株式型(為替ヘッジあり)

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	40,798	4.5%
投資信託	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅠ-4A	513,078	56.7%
	インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)	351,066	38.8%
	合計	904,942	100.0%

■世界債券型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	400,890	4.2%
投資信託	RIC Russell Investments Global Bond Fund	3,437,001	36.0%
	グローバル・ボンド・ファンドVA	1,786,924	18.7%
	ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅠ-1	3,922,406	41.1%
	合計	9,547,221	100.0%

■金融市場型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	464,219	6.1%
投資信託	フィデリティ・マネー・プールVA	7,096,184	93.9%
	合計	7,560,403	100.0%

■グローバル・バランス型

	項目	金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,338,166	4.8%
投資信託	RIC II Russell Investments World Equity Fund	7,511,772	26.8%
	グローバル成長株ファンド	6,456,264	23.0%
	RIC Russell Investments Global Bond Fund	7,605,508	27.1%
	グローバル・ボンド・ファンドVA	5,162,294	18.4%
	合計	28,074,003	100.0%

(注)「p7上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・組入れ投資信託の売買状況

■日本株式型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■日本株式積極運用型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■米国株式型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■欧州株式型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■世界株式型(為替ヘッジなし)

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■世界株式型(為替ヘッジあり)

今月は、資金移動に合わせて、「ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅠ-4A」の売買、および「インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」の一部売却を行いました。

■世界債券型

今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■金融市場型

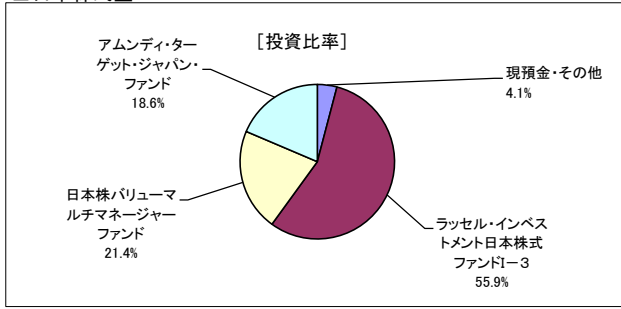
今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

■グローバル・バランス型

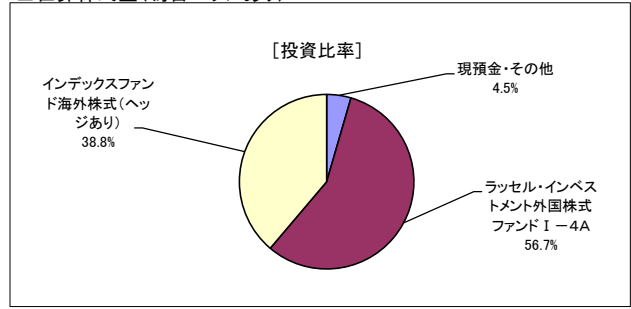
今月は、当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

・特別勘定資産の内訳(グラフ)

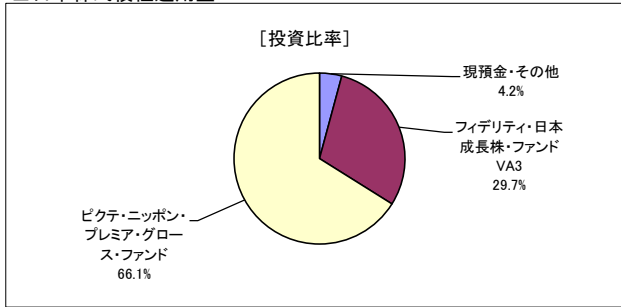
■日本株式型



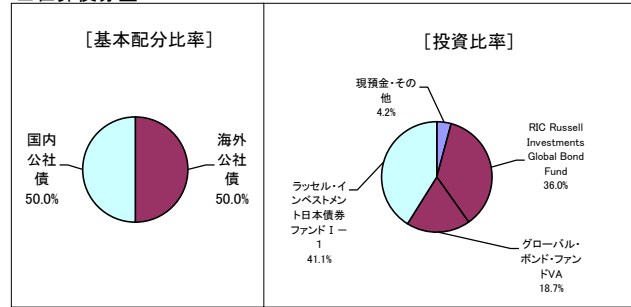
■世界株式型(為替ヘッジあり)



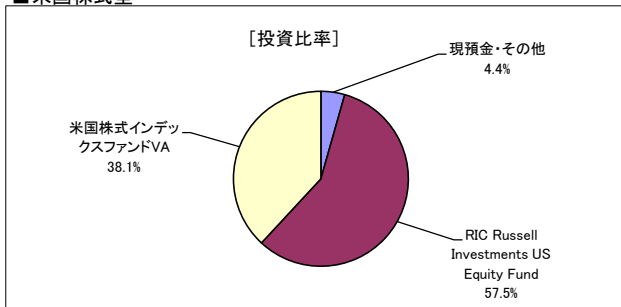
■日本株式積極運用型



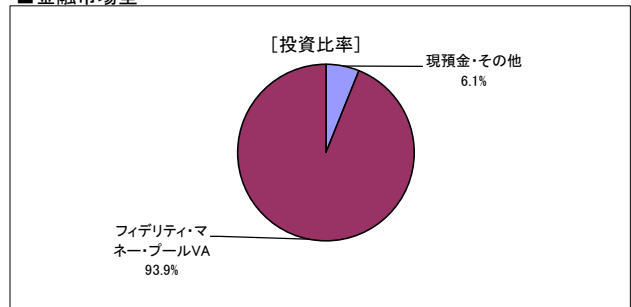
■世界債券型



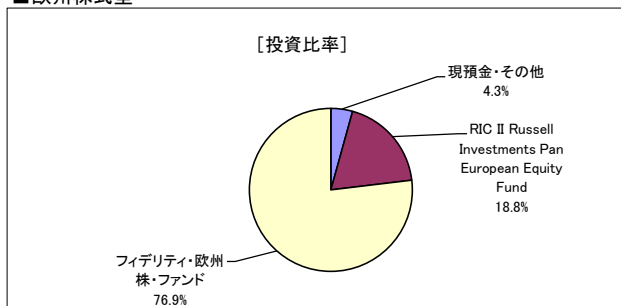
■米国株式型



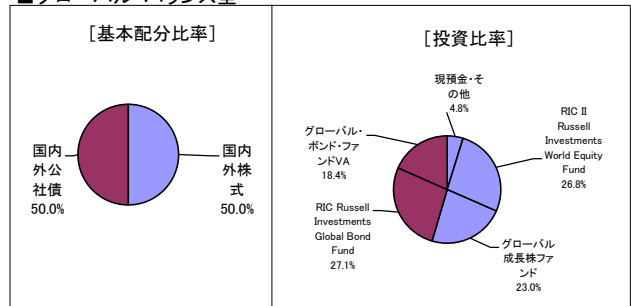
■金融市場型



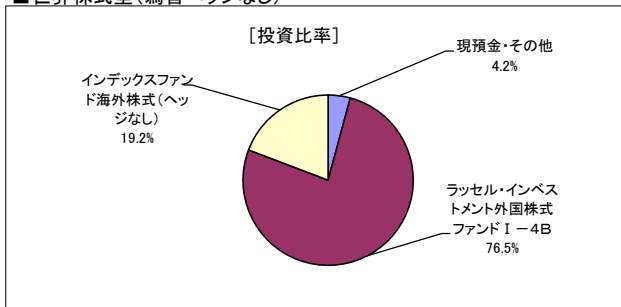
■欧州株式型



■グローバル・バランス型



■世界株式型(為替ヘッジなし)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』  
 ■将来の投資成果を保証するものではありません。  
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 4.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル・インベストメント日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆国内の証券取引所に上場されている株式を実質的な主要投資対象とし、トラッキングエラーを抑えながら、ベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回る投資成果を目指します。

◆「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」および指定投資信託証券(インデックス・ファンド)を主要投資対象とします。

◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。

◆「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」では、グロース型、バリュ型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.81%	0.94%
過去3ヶ月	5.08%	4.67%
過去6ヶ月	17.66%	16.68%
過去1年	21.98%	20.94%
過去3年	34.11%	34.73%
設定来	114.53%	112.81%

基準価額の推移 [設定日:2002年9月30日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	10.4%
輸送用機器	9.6%
銀行業	9.2%
情報・通信業	8.8%
卸売業	7.0%
機械	6.5%
化学	5.2%
小売業	5.1%
鉄鋼	3.7%
医薬品	3.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三菱商事	卸売業	2.5%
ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.5%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.3%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.2%
日立製作所	電気機器	2.0%
本田技研工業	輸送用機器	1.8%
トヨタ自動車	輸送用機器	1.8%
三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	1.6%
新日鐵住金	鉄鋼	1.5%
花王	化学	1.5%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
RIIS(ティーフ・ハリュ)	ハリュ型	10%
損保ジャパン日本興亜	ハリュ型	16%
ニューメリック	マーケット・オリエンテッド型	35%
スパークス[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	12%
カムイ投資助言]*	グロース型	7%
アセットマネジメントOne	グロース型	20%

①比率は国内株式評価額合計に占める割合

②数%程度のキャッシュ・エクワイブション(流動資金の株式化)部分等を除きます。

\*当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・イン・プリマーション・サービス・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

(投資信託名)日本株バリュ型マルチマネージャーファンド

(運用会社)アセットマネジメントOne株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆日本の株式の中から割安とされる銘柄に投資します。

◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「バリュ型1号マザーファンド」および「バリュ型2号マザーファンド」を主要投資対象とします。各マザーファンドの投資配分の決定にあたっては、HCアセットマネジメントの助言を受けます。

◆株式の運用指図に関する権限については、バリュ型1号マザーファンドはラザード・ジャパン・アセット・マネジメント株式会社に、バリュ型2号マザーファンドはAdvisory Research, Inc.にそれぞれ委託しています。

(出所)  
アセットマネジメントOne株式会社

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	0.90%
過去3ヶ月	4.25%
過去6ヶ月	18.21%
過去1年	25.85%
過去3年	33.71%
設定来	73.48%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2017年2月末現在)

■マザーファンド組入比率

マザーファンド	比率
バリュ型1号マザーファンド	48.77%
バリュ型2号マザーファンド	51.10%

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	18.1%
化学	10.9%
銀行業	10.1%
機械	8.6%
情報・通信業	7.5%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
旭化成	3.6%
日本電信電話	3.5%
三菱商事	3.4%
ジャフコ	3.3%
東京エレクトロ	3.1%

バリュ型2号マザーファンド

業種	比率
化学	13.9%
電気機器	12.3%
卸売業	10.6%
輸送用機器	10.0%
建設業	9.2%

銘柄	比率
新明和工業	3.0%
安藤・間	2.8%
シッヘルスケアホールディングス	2.7%
日信工業	2.7%
堀場製作所	2.6%

(出所)  
アセットマネジメントOne株式会社

ご注意

※組入上位5業種の比率は、各マザーファンドの株式組入全体を100%とした比率です。  
株式組入上位5銘柄の比率は、各マザーファンドの対純資産比率です。

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があるとと思われる銘柄を厳選し投資します。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況  
(2017年2月末現在)

	ファンド
過去1ヶ月	1.80%
過去3ヶ月	8.89%
過去6ヶ月	26.59%
過去1年	27.75%
過去3年	55.62%
設定来	242.30%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]  
(2017年2月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	84.3%
東京二部	8.7%
JASDAQ	3.4%
その他市場	1.1%
現金・その他	2.6%
合計	100.0%

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	18.4%
建設業	13.8%
金属製品	8.2%
機械	8.1%
情報・通信業	7.2%
化学	6.4%
卸売業	4.7%
輸送用機器	4.4%
銀行業	4.3%
その他製品	3.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
セイノーホールディングス	陸運業	2.6%
双葉電子工業	電気機器	2.5%
天馬	化学	2.5%
トッパン・フォームズ	その他製品	2.4%
静岡銀行	銀行業	2.2%
キッセイ薬品工業	医薬品	2.1%
応用地質	サービス業	2.1%
アイネス	情報・通信業	2.0%
高周波熱錬	金属製品	2.0%
EIZO	電気機器	1.9%

(出所) アムンディ・ジャパン株式会社

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率をいいます。

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。  
◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。  
◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。  
◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況  
(2017年2月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲0.12%	0.94%
過去3ヶ月	4.09%	4.67%
過去6ヶ月	13.57%	16.68%
過去1年	19.48%	20.94%
過去3年	32.42%	34.73%
設定来	93.69%	87.83%

基準価額の推移 [設定日:2001年11月29日]  
(2017年2月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年1月末現在)

■市場構成比率

市場	比率
東証1部	95.4%
東証2部	1.7%
ジャスダック	1.3%
その他市場	0.6%

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	15.6%
機械	11.9%
情報・通信業	8.5%
化学	7.4%
輸送用機器	7.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
ソフトバンクグループ	情報・通信業	4.8%
ミスグループ本社	卸売業	4.6%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.1%
マキタ	機械	3.0%
リナイ	金属製品	2.9%
三浦工業	機械	2.4%
キーエンス	電気機器	2.3%
ダイキン工業	機械	1.7%
東レ	繊維製品	1.7%
ニリホールディングス	小売業	1.7%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所) フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

◆わが国の証券取引所(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。  
 ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。  
 ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。  
 ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2017年2月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	1.43%
過去3ヶ月	5.76%
過去6ヶ月	17.75%
過去1年	26.81%
過去3年	39.94%
設定来	85.35%

基準価額の推移 [設定日:2002年5月30日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	98.6%
ジャスダック	0.6%
---	---
---	---
---	---

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	16.0%
化学	9.6%
機械	9.4%
情報・通信業	8.7%
銀行業	7.3%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%
トヨタ自動車	輸送用機器	3.5%
東京海上ホールディングス	保険業	2.9%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.5%
ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.0%
NTTドコモ	情報・通信業	2.0%
日本電信電話	情報・通信業	2.0%
リクルートホールディングス	サービス業	1.9%
三菱電機	電気機器	1.9%
村田製作所	電気機器	1.8%

※組入比率は実質比率(マザーファンドの組入比率×マザーファンドにおける当該資産の組入比率)です。

(出所)  
ピクテ投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆米国の大型株を主要投資対象とし、ベンチマーク(Russell 1000 Index)を上回ることを目標として運用を行います。  
 ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用し、分散化を図ることで、ベンチマークと同程度のリスクになるようコントロールします。  
 ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米国建投資信託です。

ファンドの騰落状況

ファンドの騰落状況 (2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	3.81%	3.80%
過去3ヶ月	7.36%	7.80%
過去6ヶ月	10.14%	9.78%
過去1年	24.71%	24.77%
過去3年	26.35%	31.45%
設定来	147.53%	224.02%

基準価額の推移 [設定日:1998年1月2日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況 (2017年2月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
Apple Inc.	テクノロジー	2.8%
Citigroup Inc.	金融サービス	2.3%
Microsoft Corp.	テクノロジー	2.2%
JPMorgan Chase & Co.	金融サービス	1.7%
Exxon Mobil Corp.	エネルギー	1.7%
Pfizer Inc.	ヘルスケア	1.5%
Intel Corp.	テクノロジー	1.5%
Oracle Corp.	テクノロジー	1.5%
Johnson & Johnson	ヘルスケア	1.5%
Chevron Corp.	エネルギー	1.4%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Aronson	バリュート型	15.0%
Ceredex	バリュート型	21.0%
HS Management	グロース型	9.0%
Levin	マーケット・オリエンテッド型	14.0%
Pzena	バリュート型	8.0%
Russell Investments	マーケット・オリエンテッド型	13.0%
Suffolk	グロース型	20.0%

(※)2017年2月15日付で、P.5.6.9.10.13.14の投資信託名の"Russell"の後に、"Investments"が追加されました。

(出所)  
Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆S&P500種株価指数(円ベース)に連動した投資成果を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「米国株式インデックスマザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.97%	2.75%
過去3ヶ月	8.04%	7.62%
過去6ヶ月	19.76%	18.80%
過去1年	22.33%	20.51%
過去3年	47.35%	41.11%
設定来	188.71%	131.64%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月21日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2017年2月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア	3.51%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	2.40%
EXXON MOBIL CORP	エネルギー	1.64%
AMAZON.COM INC	小売	1.61%
JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー	1.60%
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	1.57%
JPMORGAN CHASE & CO	銀行	1.55%
FACEBOOK INC-A	ソフトウェア・サービス	1.53%
WELLS FARGO & CO	銀行	1.28%
GENERAL ELECTRIC CO	資本財	1.27%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率は対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

(※)2017年2月15日付で、P.5,6,9,10,13,14の投資信託名の"Russell"の後に、"Investments"が追加されました。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.07%	2.94%
過去3ヶ月	8.33%	8.59%
過去6ヶ月	8.74%	8.74%
過去1年	13.40%	14.67%
過去3年	15.82%	19.56%
設定来	44.01%	58.39%

基準価額の推移 [設定日:2000年11月14日]



※騰落状況はユーロベースで計算しており、基準価額の推移もユーロベースで表記しています。

ポートフォリオの状況 (2017年2月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	業種	比率
Roche Holding Ltd.	スイス	ヘルスケア	2.6%
Nestle S.A.	スイス	生活必需品	2.0%
Bayer AG	ドイツ	ヘルスケア	1.9%
GlaxoSmithKline plc	イギリス	ヘルスケア	1.9%
ING Groep NV	オランダ	金融	1.6%
Siemens AG	ドイツ	資本財・サービス	1.5%
Imperial Brands PLC	イギリス	生活必需品	1.4%
Total SA	フランス	エネルギー	1.2%
Reckitt Benckiser Group plc	イギリス	生活必需品	1.2%
Schneider Electric SE	フランス	資本財・サービス	1.2%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Fidelity	クロス型	15.0%
Hermes	クロス型	20.0%
Numeric	ハリュ型	22.5%
Pzena	ハリュ型	12.5%
Russell Investments	マーケット・オリエント型	15.0%
SW Mitchell	クロス型	7.5%
Manager in Transition	-	7.5%

(出所)  
Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.18%	0.59%
過去3ヶ月	6.15%	6.79%
過去6ヶ月	7.43%	12.35%
過去1年	5.09%	11.83%
過去3年	11.09%	1.32%
設定来	106.55%	79.09%

基準価額の推移 [設定日:1998年4月1日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国

(2017年1月末現在)

国名	比率
フランス	22.2%
イギリス	16.1%
ドイツ	14.8%
スイス	11.1%
スペイン	9.7%

■組入上位5業種

(2017年1月末現在)

業種	比率
ソフトウェア・サービス	26.2%
商業・専門サービス	15.2%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	14.6%
資本財	12.8%
耐久消費財・アパレル	5.3%

■株式組入上位10銘柄

(2017年1月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
SAP	ドイツ	ソフトウェア・サービス	5.6%
エクスヘリアン	ジャージー	商業・専門サービス	5.3%
グリファルス	スペイン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.7%
クリスチャン・ティオール	フランス	耐久消費財・アパレル	3.5%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	食品・飲料・タバコ	3.4%
ノボ・ルティスク	デンマーク	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.2%
ネット	デンマーク	ソフトウェア・サービス	3.2%
ワールド・レイ・グループ	イギリス	ソフトウェア・サービス	3.1%
シントラー・ホールディング	スイス	資本財	3.0%
レアル	フランス	家庭用品・パーソナル用品	3.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)  
フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.07%	2.36%
過去3ヶ月	8.40%	6.12%
過去6ヶ月	17.86%	17.01%
過去1年	20.23%	21.02%
過去3年	29.90%	29.71%
設定来	187.62%	189.25%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	66.3%
ユーロ地域	12.9%
ユーロ除く欧州	15.7%
その他	5.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
VISA INC-CLASS A	USD	1.5%
Danone SA	EUR	1.3%
Apple Inc.	USD	1.1%
Diageo PLC	GBP	1.1%
BAYER AG-REG	EUR	1.1%
Citigroup Inc.	USD	1.1%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.0%
GLENCORE PLC	GBP	1.0%
WPP PLC	GBP	0.9%
BNP Paribas SA	EUR	0.9%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マッキンリー	グロース型	15%
SGA	グロース型	15%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30%
ニューメリック	マーケット・オリエンテッド型	25%
ハリス	バリュー型	15%

①比率は株式評価額合計に占める割合

②数%程度のキャッシュ・エクイティゼーション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.89%	1.86%
過去3ヶ月	7.82%	7.76%
過去6ヶ月	17.14%	16.66%
過去1年	19.05%	17.45%
過去3年	27.12%	21.80%
設定来	118.50%	83.57%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	63.95%
イギリス	6.59%
カナダ	3.93%
スイス	3.71%
ドイツ	3.58%
フランス	3.55%
オーストラリア	2.94%
オランダ	1.71%
アイルランド	1.65%
スペイン	1.19%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	2.24%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.45%
AMAZON.COM INC	アメリカ	1.04%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.03%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	1.02%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.99%
FACEBOOK INC-A	アメリカ	0.96%
WELLS FARGO & CO	アメリカ	0.85%
GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	0.82%
AT&T INC	アメリカ	0.78%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジを行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	3.38%	3.31%
過去3ヶ月	7.94%	7.36%
過去6ヶ月	8.93%	8.85%
過去1年	19.65%	22.18%
過去3年	24.64%	26.90%
設定来	123.64%	143.62%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	66.3%
ユーロ地域	12.9%
ユーロ除く欧州	15.7%
その他	5.1%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
VISA INC-CLASS A	USD	1.5%
Danone SA	EUR	1.3%
Apple Inc.	USD	1.1%
Diageo PLC	GBP	1.1%
BAYER AG-REG	EUR	1.1%
Citigroup Inc.	USD	1.1%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.0%
GLENCORE PLC	GBP	1.0%
WPP PLC	GBP	0.9%
BNP Paribas SA	EUR	0.9%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マッキンリー	グロース型	15%
SGA	グロース型	15%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30%
ニューメリック	マーケット・オリエンテッド型	25%
ハリス	バリュー型	15%

①比率は株式評価額合計に占める割合

②数%程度のキャッシュ・エクイティゼーション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	3.25%	3.02%
過去3ヶ月	7.24%	6.95%
過去6ヶ月	8.07%	7.59%
過去1年	20.18%	18.65%
過去3年	23.13%	17.91%
設定来	76.71%	50.21%



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	64.45%
イギリス	6.00%
カナダ	3.69%
スイス	3.51%
ドイツ	3.24%
フランス	3.17%
オーストラリア	2.73%
欧州	1.79%
オランダ	1.58%
アイルランド	1.50%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	2.06%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.33%
AMAZON.COM INC	アメリカ	0.97%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.94%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	0.93%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.91%
FACEBOOK INC-A	アメリカ	0.90%
WELLS FARGO & CO	アメリカ	0.78%
GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	0.75%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	0.72%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況		
(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.73%	2.78%
過去3ヶ月	8.15%	7.76%
過去6ヶ月	8.67%	7.87%
過去1年	22.39%	21.37%
過去3年	18.20%	16.54%
設定来	150.25%	130.20%



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況 (2017年2月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
US & Canada	57.0%
Europe ex United Kingdom	23.0%
United Kingdom	7.7%
Japan	4.8%
Emerging Markets	3.8%
Asia Pacific ex-Japan	3.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	業種	比率
Danone SA	フランス	生活必需品	1.4%
Visa Inc.	米国	情報技術	1.4%
Citigroup Inc.	米国	金融	1.3%
Diageo PLC	イギリス	生活必需品	1.3%
Alphabet Inc. Class A	米国	情報技術	1.3%
Glencore plc	イギリス	素材	1.1%
BNP Paribas SA	フランス	金融	1.1%
Goldman Sachs Group, Inc.	米国	金融	1.0%
Lloyds Banking Group plc	イギリス	金融	1.0%
Credit Suisse Group	スイス	金融	1.0%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Axiom	グロース型	13.0%
Harris	バリュー型	20.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド(グロース・バイアス)型	30.0%
Numeric	マーケット・オリエンテッド(バリュー・バイアス)型	20.0%
Russell Investments	マーケット・オリエンテッド型	5.0%
SGA	グロース型	12.0%

(出所)  
Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。  
◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。  
◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグロース/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.01%	1.63%
過去3ヶ月	6.48%	7.49%
過去6ヶ月	14.33%	16.55%
過去1年	20.28%	17.36%
過去3年	24.64%	21.88%
設定来	123.13%	86.85%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月2日] (2017年2月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	56.3%
日本	8.9%
ドイツ	4.9%
イギリス	4.0%
オランダ	2.9%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	3.1%
FACEBOOK INC-A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.6%
AMAZON.COM INC	アメリカドル	小売	2.5%
APPLE INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	2.2%
NETFLIX INC	アメリカドル	小売	2.0%
BANK OF AMERICA CORP	アメリカドル	銀行	1.9%
ADOBE SYSTEMS INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.8%
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	1.8%
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	1.8%
SERVICENOW INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.7%

(出所) 日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Bloomberg Barclays Global Aggregate)を上回ることを目標として運用を行います。  
◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。  
◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況		
(2017年2月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.42%	0.47%
過去3ヶ月	1.64%	1.14%
過去6ヶ月	▲4.41%	▲5.06%
過去1年	2.44%	0.59%
過去3年	▲1.01%	▲1.40%
設定来	179.92%	184.74%

基準価額の推移 [設定日:1994年9月30日] (2017年2月末現在)



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■セクター別構成比 (BM対比)

セクター	比率
国債・現金	▲19.3%
政府保証債	▲2.9%
投資適格産業	▲2.1%
投資適格公益	▲0.9%
C M B S	2.2%
A B S	3.8%
ハイイールド社債	4.0%
R M B S	4.1%
投資適格金融	5.0%
エマージング債	6.3%

■格付け別構成比 (BM対比)

格付け	比率
AAA・現金	▲6.8%
AA	▲5.4%
A	▲6.6%
BBB	0.5%
その他	18.2%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
BlueBay	金利・一般債重視型	8.0%
Schroder	セクター(資産担保証券)特化型	12.0%
Colchester	マクロ・ハリュー重視型	18.0%
Insight	マルチ戦略型	14.0%
Loomis	一般債個別銘柄選択重視型	16.0%
PIMCO	マルチ戦略・セクター配分重視型	17.0%
Russell Investments	ポジショニング戦略(通貨・金利型)	15.0%

(※)2017年2月15日付で、P.5,6,9,10,13,14の投資信託名を"Russell"の後に、"Investments"が追加されました。

(出所) Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆シティ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	▲0.35%	▲0.23%
過去3ヶ月	0.14%	▲1.10%
過去6ヶ月	1.16%	0.98%
過去1年	▲2.97%	▲2.11%
過去3年	3.68%	5.47%
設定来	52.33%	71.70%

基準価額の推移

[設定日: 2002年8月1日]

(2017年2月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況

(2017年2月末現在)

■国別構成比率上位5カ国

国名	比率
アメリカ	28.28%
日本	21.69%
フランス	8.01%
ドイツ	7.46%
イタリヤ	7.22%

■通貨別構成比率上位5通貨

通貨	比率
米ドル	31.87%
ユーロ	29.16%
日本円	21.69%
英ポンド	5.78%
NZドル	3.13%

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2025/5/15	2.125	AAA	5.80%
アメリカ国債	USD	2020/8/31	1.375	AAA	5.23%
イタリア国債	EUR	2020/5/1	0.700	BBB	4.01%
フランス国債	EUR	2020/5/25	0.000	AA	3.72%
アメリカ国債	USD	2045/2/15	2.500	AAA	3.49%
日本国債	JPY	2018/9/20	2.300	A+	3.31%
ニュージーランド国債	NZD	2021/5/15	6.000	AAA	3.13%
オーストラリア国債	AUD	2020/11/21	1.750	AAA	3.02%
日本国債	JPY	2025/6/20	2.100	A+	2.93%
ドイツ国債	EUR	2021/10/8	0.000	AAA	2.81%

※各比率は、投信の純資産総額に対する比率です。

(出所)  
アバディーン投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.29%	0.31%
過去3ヶ月	▲0.79%	▲0.80%
過去6ヶ月	▲1.63%	▲1.65%
過去1年	▲0.29%	▲0.25%
過去3年	6.92%	7.15%
設定来	25.87%	29.37%

基準価額の推移

[設定日: 2003年11月18日]

(2017年2月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2017年2月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	58.9%
地方債	4.8%
政保債	8.1%
金融債	1.0%
事業債	20.2%
円建外債	4.1%
MBS	2.9%
ABS	0.0%
その他	0.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
アセットマネジメントOne	広範囲型	50%
ウェスタン	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

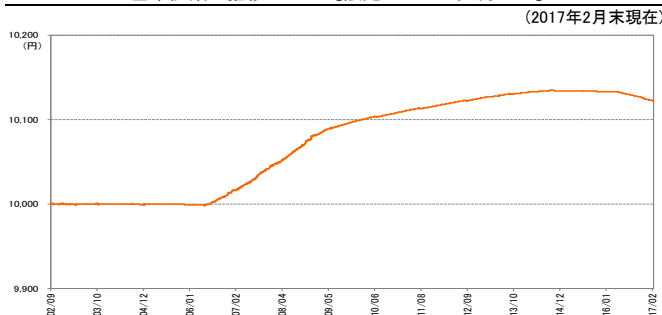
- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2017年2月末現在)	
過去	ファンド
過去1ヶ月	▲0.01%
過去3ヶ月	▲0.03%
過去6ヶ月	▲0.07%
過去1年	▲0.11%
過去3年	▲0.11%
設定来	1.22%

基準価額の推移

[設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール

(2017年1月末現在)	
平均残存日数	-
平均残存年数	-

■格付別構成比

(2017年1月末現在)		
	格付	比率
長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	-
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		100.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄

(2017年1月末現在)		
銘柄	格付	比率
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

(出所) フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』  
 ■将来の投資成果を保証するものではありません。  
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 5. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

### アバディーン投信投資顧問株式会社

アバディーン・アセット・マネジメント・グループは、英国スコットランドのアバディーンに設立され世界25カ国38カ所に拠点を置き、資産運用に特化したグローバルな資産運用会社です。上場する運用会社としては英国最大級の運用規模を誇っています。1983年の会社設立以降、主要金融機関の傘下に入ることなく、資産運用に特化した事業を展開し、順調な拡大を遂げています。独自の調査・分析および判断に基づいた運用を基本とし、世界の市場を網羅した効率的で地域に根ざした運用体制を構築しています。チーム運用重視、明確な運用プロセス、フラットな組織のもと、長期的視野に立った運用を行っています。

### アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社は、フランス共和国パリに本拠を置くアムンディ・グループの日本拠点で、グループ中核会社であるアムンディの100%子会社です。アムンディは、2009年12月31日に欧州有数の銀行グループであるクレディ・アグリコル、ソシエテ ジェネラル、グループ双方の資産運用会社を統合して設立されました。日本では、2010年7月1日付けでクレディ・アグリコルアセットマネジメント株式会社とソシエテジェネラル アセット マネジメント株式会社が合併し、当社が発足しました。アムンディは、世界の主要な金融市場である欧州（パリ、ロンドン、ミラノ）、アジア（日本、香港、シンガポール）、オーストラリア、米国（ダラム）等に拠点を置く、グローバルな運用会社です。またビジネスを展開する拠点において強いプレゼンスを有し、お客様と密接で長期的な視野に立った関係の構築を常に心掛けています。

### アセットマネジメントOne株式会社

2016年10月1日にDIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）は統合し、「アセットマネジメントOne株式会社」として発足しました。アセットマネジメントOneはグローバルな運用会社としての飛躍を目指して、統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、お客さまに最高水準のソリューションを提供していきます。独立性・透明性の高い経営体制を構築し、お客さまの利益を最優先に考え、もっとも高いレベルで「お客さまの大切な資産運用を預かる者」として責任を全うする、フィデューシャリーNo.1を目指していきます。

### 日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、1959年の設立以来、半世紀にわたって、わが国をリードする資産運用会社として、投資家のみなさまに多様な金融商品を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する仕組みを確立し、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。アジア戦略の一環として、豪・NZのティンダル、シンガポールのDBS AMを買収し、アジアを代表する資産運用会社へのさらなる発展を目指しています。

### フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FILリミテッドの実質的な子会社です。FILリミテッドは世界有数の資産運用会社として、アジア太平洋、欧州、中近東、ラテンアメリカを含む20以上の国において、投資家向けにさまざまなアセットクラスを網羅する投資商品や、リタイアメント・ソリューションを提供しています。

### ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者のみなさまを対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っております。当グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とします。

### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【お問い合わせ先】